

堆肥への大変身

毎年、市で回収するアオサは千〜千500トン。回収したアオサは、腐敗しているだけでなく砂や貝殻などが混じっているため、ゴミとして処理をしてきました。

しかし、この大量に回収するアオサをなんとか利用できないかと考え、公園や街路樹の枝切りから出るせん定枝と混ぜて発酵させ、堆肥を作る研究をしました。従来はどちらも「ゴミ」という視点で考えられていましたが、適切に活用することで、有効に利用できるのではないかと考えたのです。

そして、チッ素含有量が牛ふん並みに多い良質な堆肥ができることが分かりました。



良質な堆肥ができました

一番の解決策

しかし、どんなに高性能な回収機械を開発するよりも、画期的な利用方法を発明するよりも、海がきれいになって、アオサが大量発生しないことが一番です。それには、私たち一人ひとりが何気なく使っている台所やトイレが『海』につながっていることに気づき、海を汚さない努力が必要です。

そこで、親子を対象にした海岸体験学習会や、小学校の総合学習の時間を使った環境学習を実施しました。実際に海へ入っての海岸生物の観察や水質の測定・実験などを通じて、このかけがえのない海の大切さを感じてもらい、さらには私たちがするべきことを考えてもらいました。



「カニがとれたよ」



竹島には青い海が似合います



これから考えていくこと

三河湾環境チャレンジ実行委員会は今年度で終了しますが、市では、この3年間で得られた成果を基にして、より具体的な取り組みを進めてまいります。

- 一人でも多くの皆さんに海の大切さを理解していただくために、竹島海岸での「海辺の海岸体験学習会」を続けていきます。
- 市内の小・中学校が実施する環境学習を、積極的に支援していきます。
- アオサ堆肥の実用化に向けて、安定した堆肥を安価でつくることを目標に研究を続けます。

第3回

三河湾環境チャレンジシンポジウム

これまでの3年間で研究してきた内容を分かりやすく報告します。

市民の皆さんとともに、私たちの宝物である「海」に対して、私たち自身ができることは何かを考えます。

とき 9月28日(水)

午後1時30分〜5時

ところ 蒲郡商工会議所 コンベンションホール

内容 三河湾環境チャレンジ

の取り組み紹介、竹島小学校5年生による環境学習の発表、アオサ有効利用に向けた提案(パネルディスカッション)など

申込方法 9月27日(火)までに、参加希望者の氏名・住所・電話番号をファクスまたはEメールで、企画調整課内三河湾環境チャレンジ実行委員会事務局 (Fax 66◆1190 Eメール kikaku@city.gamagori.jp) へ。



※三河湾環境チャレンジの活動実績詳細は、蒲郡市ホームページに掲載しています。(http://www.city.gamagori.aichi.jp/kikaku/kikaku/kankyocharenji/mikawawankankyocharenji.html)